

平成28年9月

宇山幸江 学位論文審査要旨

主 査 萩 野 浩
副主査 前 垣 義 弘
同 花 木 啓 一

主論文

Current status of the utilization of powered wheelchair in preschool children with locomotive disability in Japan

(日本における移動能力障害をもつ未就学児の電動車椅子利用の現況)

(著者：宇山幸江、花木啓一)

平成28年 Physical Therapy Research 19巻 13頁～23頁

参考論文

1. Seating arrangements for children with insufficient head control: lessons from trials using the i2i head & neck positioning & support system

(頷定が不十分な小児へのシーティング調整：i2iヘッド&ネックポジショニング&サポートシステムを用いた取組からの教訓)

(著者：宇山幸江、花木啓一)

平成27年 Journal of Physical Therapy Science 27巻 947頁～950頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、移動能力障害をもつ未就学児への電動車椅子利用について、日本における支給の実態を調査するとともに、一定以上の精神運動発達レベルにあり、電動車椅子の恩恵に浴することのできる未就学障害児の概数を明らかにしたものである。その結果、未就学障害児へ電動車椅子を処方した施設では、小児の移動範囲の拡大やコミュニケーション能力の向上が報告され、電動車椅子による自己選択・決定の支援が、小児の心理社会的発達を促した可能性が示唆された。一方、懸念されていた電動車椅子利用による運動機能の低下や事故の増加は認められなかった。本論文の内容は、従来、電動車椅子が処方されることの少なかった未就学障害児への電動車椅子の積極的な処方に道を開くものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。